

# KENICHI MASAKI LAB.

「正木賢一研究室」は、「間」についてあれこれ考えている。「間」とは、「時間」であり、「空間」であり、「メディア」である。「手間」はできるだけ掛けたいと思うし、「仲間」はたくさんの方が心強い。「間抜け」は嫌だ。「間が悪い」と「世間」からは白い目で見られる。引っ越し先は「間取り」で決めたけど、「隙間風」はつらい。ときに「休む間」もなく作業に没頭し、「知らぬ間」に夜が明けていたりする。親しい「間柄」にも、ある程度の「間合い」が必要だ。交わす言葉の「行間」だって、ちゃんと読まなきゃならない。そんな気まぐれで気難しい「間」だけど、いつも大切な役割を果たしてくれている。それは「モノ・コト・バ・ココロ・ヒト」をつなぐこと。おまけに新たな「関係」も築いてくれる。その粋な計らいを読み解き、味わい、自分なりの形を与えて、意味づけをしてみる。これが結構楽しい。楽しいことは、人に魅せたい、伝えたい。だから「正木賢一研究室」は、「間」の可能性について考えている。間もなく始まる研究室選び。迷っている学生もいるかと思う。でも、あせることはない。今からじっくり考え始めても、十分に間に合う。だけど、もし悩んじゃったり、いつまでも決まりそうになかったら、一度、気分転換に研究室の扉をたたいてみて。そしたら、あなたの「間」について、「研究室の仲間」と一緒に考えてみたい。何かヒントが見つかるかも。

---

\*下記の検索タグは、「正木賢一研究室」を知る最初の手がかり。気になるキーワードはあるかな？但し、インターネットで検索してもヒットしないと思うのであしからず。もっと具体的に知りたい！という方は、うら面にある主な活動紹介およびホームページをご覧ください。アドレス (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~kenichi/>) 直接、訪問大歓迎！美術棟 2F (通称グラ研) & 3F (西側一番奥)

## #メディア#表現#教育

#ビジュアル・コミュニケーション・デザイン#ビジュアルリテラシー#グラフィック・デザイン#絵本#雑誌#イラストレーション#キャラクター#メディア・アート#写真#アニメーション#マンガ#雑貨#地域連携#子ども#遊びと学びのコンテンツ#ワークショップ#おもちゃ#ゲーム#編集#出版#印刷#広報#広告#コマーシャル#色彩学#ウェブ#ICT#デジタル表現#宇宙#自然科学#インタープリテーション#SF#テクノ音楽#切手#読書#ワイン#ねこ…



「こどもモード」(遊びと学びの支援): 学内にある「こどもモードハウス」を活動拠点にワークショップ等展開。



大学広報誌「TGU」(メディア表現教育の実践活動): 企画・取材・編集をすべて学生がががっている。



「小金井くるのカメ大作戦」(地域デザイン事業): 地域課題の解決に向けたキャラクター開発。



「iRobi」(キャラクター開発): 学習ロボットを開発する韓国の会社と連携, 絵本や映像メディアへ展開中。



「小金井市立はげの森美術館」(地域連携): 展覧会の広報デザイン, 直接, 学芸員と関わる実践的な仕事。



「ナラコレ!」(ワークショップ): 子どもたちの自作自演ファッションショー, 奈良の施設2泊3日プログラム。



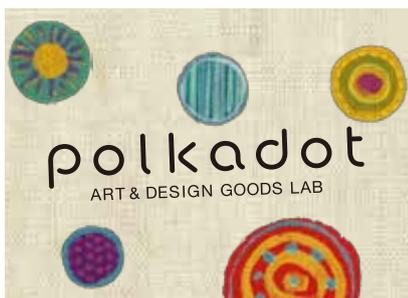
「遊びと学びのコンテンツ開発」(国際交流・企画展): 子どもたちの成長を支援する映像番組の制作と韓国展。



「絵本制作」(メディア表現教育の実践研究): 絵本表現の可能性を探り, 絵本学会や電子出版等で発表。



「Artfull Action!」(地域連携・芸術振興活動) 小金井市を拠点にしたアートのコラボ&ラボ活動に参画。



雑貨プロジェクト「polkadot」(販売展示企画): 手作り雑貨やカフェをテーマに「モノ・コト・バ」づくりの実践。



「教えて、リンリン!」(研究教材開発): 異分野の研究とコラボして, 教材開発やメディア表現の可能性を探る。



「メディア表現教育の題材開発」(ワークショップ): こどもモード活動と連携した絵本づくり等を通じて。



「学芸カフェテリア」など(大学広報活動): ポスターやパンナーはじめ, 大学内のイベントに関する広報デザイン。



「アザメの瀬自然学習」(研究教材開発): 環境教育等の異分野と連携したフィールド研究とメディア表現。



「小金井再発見プロジェクト」(インタープリテーション): 授業の一環, 地域の魅力を再発見し, 地域へ発信。